

2015年3月19日

「ダイバーシティ経営企業100選」を受賞

アフラック（アメリカンファミリー生命保険会社、日本における代表者・社長：山内 裕司）はこのたび、経済産業省が主催する「ダイバーシティ経営企業100選」（2014年度）の受賞企業に選出されました。

「ダイバーシティ経営企業100選」とは、経済産業省が日本で多様な人材の積極的活用の加速化が進むことを期待し、「ダイバーシティ経営によって企業価値向上を果たした企業を表彰する」ことを目的に2012年から実施しているものです。

今回の受賞は、アフラックが創業当初から女性を積極的に採用・育成し、男女問わず活躍する機会を全社員に幅広く提供してきたことなどが評価されたことによるものです。今後も女性をはじめとする多様な人材が最大限に能力を発揮できる環境を整えることで、ビジネスの持続的成長をめざすダイバーシティの推進に積極的に取り組んでまいります。

【主なダイバーシティの取り組み】

アフラックにはすべての社員の多様性を尊重し、性別や世代などの違いを問わず、その能力を最大限に発揮できる環境が醸成されています。

1974年の創業メンバー16名のうち9名が女性であったことから、創業当初から女性を積極的に採用・育成し、女性が重要な戦力として活躍する機会を常に全社員に提供してきました。

■生命保険業界初の女性役員の登用

1997年、アフラックでは生命保険業界で最も早く女性役員が誕生しました。これまでに累計10名の女性役員が誕生し、2015年3月現在、5名の女性役員が在籍しています。

■女性社員のキャリアアップへの支援

2014年に策定した「女性の活躍推進プログラム」のもと、専担組織や経営陣による専門委員会の設置のほか、キャリアアップセミナー、トップマネジメントと社員の意見交換、女性社員の外部研修への派遣などの取り組みを行うことで、女性が活躍できる環境作りを行っています。



※当社がダイバーシティに取り組む姿勢を表現したロゴ

<参考：ダイバーシティ経営とは>

「多様な人材を活かし、その能力が最大限発揮できる機会を提供することで、イノベーションを生み出し、価値創造につなげている経営」のことです。

※平成26年度ダイバーシティ経営企業100選より



当社は、多くの方々の「生きる」を創る保険会社として、社会における課題の解決と持続的な成長をめざし、社会と共有できる価値の創造（CSV*経営）に努めていきます。

※CSV:Creating Shared Value